

## 農業用ドローンおよびデジタル農業の技術的知見をブルーカーボン事業へ応用 — ブルーカーボン事業の一端を担い、カーボンニュートラル化に寄与 —

株式会社ナイルワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小嶋 康弘、以下「ナイルワークス」）は、2050年のカーボンニュートラル化を目指し、これまで培ってきた農業用ドローンによる撮影技術およびデジタル農業の技術的知見を陸地から海上に応用する形で、住友商事グループが推進するブルーカーボン事業の一端を担いました。

ナイルワークスでは、自社開発している農業用ドローンを中心に上空からの作物撮影技術の改良に努め、農業デジタルツインを目指し、質と効率を追求した栽培データの取得や生育状態の把握のための画像解析に取り組んでおります。植物の生育状態を正確に把握するためには、その目的に応じてドローンやカメラの選定、飛行指示、画像解析など工夫と改良の積み重ねが必要です。この農業分野で培った技術的知見を応用することによる当社事業拡大を目指し、ブルーカーボン事業に応用しました。

今般、住友商事殿から発表があった岩手県洋野町の増殖溝の藻場におけるブルーカーボン事業は、住友商事、住友商事東北、住友商事グループ会社の Insight Edge ならびにナイルワークスが推進する事業です。ナイルワークスは計測計画の策定から CO<sub>2</sub> 固定が行われている藻場の空撮などを担う形で、「岩手県洋野町における増殖溝を活用した藻場の創出・保全活動」による J ブルークレジット®の認証申請を支援し、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合により、過去最大量の 3,106.5tCO<sub>2</sub> の認証が行われました。

今後も、ナイルワークスとして農業分野で培った先進技術をブルーカーボン事業に応用すべく関与し、持続的なカーボンニュートラルな世界を目指して参ります。カーボンニュートラルを目指される自治体ならびに企業様でブルーカーボンにご関心がある方がいらっしゃいましたら、お気軽にお問い合わせください。

### ■ 関連情報

CO<sub>2</sub> の新たな吸収源、ブルーエコノミー事業の推進

～岩手県洋野町における過去最大量の J ブルークレジット® 認証取得～

住友商事 住友商事東北

<https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/news/topics/2022/group/20221130>

## ■会社概要

設立： 2015年1月

所在地： 東京都千代田区神田錦町一丁目4番3号

代表者： 代表取締役社長 小嶋 康弘

事業内容： 農業用ドローンの開発、製造、販売  
デジタル農業・農業DXにおける技術開発、サービス提供  
農機シェアリングのシステム開発、運用

URL： <https://www.nileworks.co.jp>

以上

本件に関する問い合わせ先

株式会社ナイルワークス 広報

TEL:03-5577-3071 Email:pr@nileworks.co.jp